

子ども読書活動推進計画 令和2年度実施報告書

対象：家庭

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
家庭	「家読（うちどく）」の実践	「家読」の啓発	「家読のススメ」チラシの発行や、図書館だより等への「家読」記事やおすすめの本を掲載することで、家読の意義や楽しさについて啓発を図る。	「家読のススメ」第8号を発行し、市内小学校・会津支援学校・聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設へ配布した。あわせて、3月に子どもとしょかん内で「家読」のミニ展示を行った。	生涯学習総合センター（会津図書館）
		会津図書館の広報	年齢や様々な言語に応じた本の収集に努めるとともに、就学前の家庭教育講座や、図書館見学・職場体験等の機会をどう図書館利用について広報していく。	就学時健康診査の際の家庭教育講座において、保護者に対し図書館の利用や「家読」について広報した。 児童の見学の際には、可能な限り貸出カードの作成を働きかけ、自動貸出機での貸出を体験してもらい、新規登録者の増加を図った。 ○見学の受入 ・小学校 15校 ・聴覚支援学校（小学部）1校 ・高等学校 1校 ・幼稚園 1園 ○職場体験、インターンシップの受入 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は受入を行わなかった。 ○各種健康診査時に図書館利用について掲載したブックリストを配付し、会津図書館の利用促進を図った。	生涯学習総合センター（会津図書館）
			「子どもとしょかんだより」の発行・配布により、図書館のイベント、新刊図書・おすすめの本等を広報していく。	「子どもとしょかんだより」を4回（4・7・10・1月）発行し、館内配布のほか、市内小学校や会津支援学校・聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設へ配布した。	生涯学習総合センター（会津図書館）
			「子どもとしょかん 新着図書一覧」の発行・配布により、新刊図書・図書館の利用等を広報していく。	10月より2か月に1回、未就学児を対象とした「子どもとしょかん 新着図書一覧」を発行し、市内幼稚園・保育園へ配布した。※3回配布	生涯学習総合センター（会津図書館）
	公民館図書室の広報	公民館図書室の広報	各「公民館だより」で、公民館図書室「図書コーナー」の紹介や新刊本の案内により、利用を促進する。	南公民館だより「南風」に図書室の利用案内とおすすめ本の紹介について掲載し、周知を図った。また、門田地区地域行事一覧表にも図書室利用案内と新刊本の紹介について掲載し、門田地区全戸に配布した。	南公民館
				公民館だよりで新刊本の案内を継続している。図書館内では新刊書全てを知ってもらえるように数冊ずつをクローズアップしたディスプレイを行っている。以前からある図書についてはシーズンや行事等を意識した本をピックアップしディスプレイしている。	北公民館
				新刊本のお知らせを3回にわたり公民館だよりに掲載して広報活動を行った。	湊公民館
				河公だよりで新刊本の紹介、利用方法などを掲載し、ロビーや図書室には新刊本の案内を掲示し、利用促進を図った。	河東公民館
				公民館だより「びかりん通信」で新刊案内を掲載しPRに努めた。 9月号では図書室の開館時間や利用方法などを掲載し、利用促進に努めた。	北会津公民館
				大戸公民館報「大戸岳」に図書コーナーの紹介や利用の仕方等を掲載し、再度利用者へ周知を図った。	大戸公民館
				「いっき公民館だより」に図書室の案内と新刊本の案内を掲載し、利用促進を図った。	一箕公民館
				門田小学校の「まちたんけん」を受け入れる中で、図書室を案内して利用を呼びかける。	南公民館
				第五中学校の職業体験を受け入れ、公民館の仕事の一部として図書室業務の体験により、図書室の利用促進を呼びかける。	南公民館
				門田小学校の授業の一コマ、「図書室に行ってみよう」で見学を受け入れ、利用促進を図る。	南公民館
				門田地区文化祭の中で、主催事業「ふれあい学級」によるオリジナルおひょうくりコーナーを開催し、読書機会の創出を図る。	南公民館
				一箕小学校児童の「公民館訪問見学」を受け入れる中で、公民館図書室を案内し利用を促進する。	一箕公民館
				東山小学校児童の「公民館見学」を受け入れる中で、図書コーナーを案内し利用を呼びかける。	東公民館
				永和小学校児童の「公民館見学」を受け入れる中で、図書コーナーを案内し利用を呼びかける。	北公民館
				河東学園小学校の「町探検学習」を受け入れる中で、図書室を案内し利用を呼びかける。	河東公民館
			「0歳からの絵本スタート」の実践	ブックスタート事業	4か月児健康診査時に乳児と保護者を対象とした、絵本の読み聞かせとともに絵本等を手渡すブックスタート事業を実施し、子育てにおける読み聞かせの重要性の啓発や、子どもの心と言葉の発達等の育成支援、また、家庭で絵本を介した豊かな時間をもつことで安心して子育てができる環境づくりの一助とする。

家庭	「0歳からの絵本スタート」の実践	読書機会の提供	図書館が作成した絵本の年齢別ブックリストを、4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児それぞれの健康診査会場および、7か月児離乳食教室の会場において配布し、読書機会や情報を提供する。	年齢別ブックリストの配布 ・4か月児健康診査会場 100% ・1歳6か月児健康診査会場 100% ・3歳6か月児健康診査会場 100% ・7か月児離乳食個別相談会場 100% ・合同健康診査会場 100%	健康増進課 生涯学習総合センター (会津図書館)
			会津図書館から配本される新刊本を、ブックトラックに別置きし、面白絵本などを面出して興味を喚起する。	配本がある度に、大戸公民館報「大戸岳」に新刊本を載せて情報を提供したり、新刊本をブックトラックに別置きする事で、来館者にわかりやすく手にとりやすくなった。	大戸公民館
		公民館図書室の環境整備	子どもを遊ばせたり読み聞かせが出来るスペースのほか、ソファや畳敷きのコーナーを設け、子どもたちや乳幼児とその保護者が本に親しみ、利用しやすい公民館図書室の環境を整備する。	子どもを遊ばせたり読み聞かせができるスペースに絵本等を配置できる本棚を設置したり、利用者が入館した際、新刊本が目につきやすいようにブックトラックに見出しをつけて別置きし、興味を持ち、手にとりやすいようにした。	大戸公民館
			子どもを遊ばせたり読み聞かせが出来るスペースを確保し、クッションや子ども用の遊具を設置することで、乳幼児とその保護者が本に親しみ、利用しやすい公民館図書室の環境を整備する。	閲覧テーブルの配置等を工夫し、多くの方が利用しやすく、子どもも安心して遊べる環境の整備に努めた。	北会津公民館
		気軽に本を手にとれるように新刊本や季節の本などのおすすめの本のディスプレイを行う。またお子様連れでも利用しやすいようなスペースを確保し、本に親しみやすい環境整備をこころがける。	新刊本やおすすめの本のディスプレイ、特設コーナーを設置した。また、絵本の棚は、小さい子が手にとりやすいように目線に合わせて、低い位置に面的展示を行うなど、親子で楽しく本を選べるような環境づくりに努めた。	南公民館	
		新刊本や季節の本などのおすすめの本を別置きしたり、案内などを掲示することで、利用しやすい図書室の環境を整備する。	新刊本や季節の本などのおすすめの本を別置きしたり、本の配置や案内表示などを工夫し、利用しやすい図書室の環境整備に努めた。	河東公民館	
	読み聞かせ事業	①「おはなし会」「かたりべ会」「赤ちゃんおはなし会」「おはなしのもり」様々な絵本や語りに触れ合う機会を提供し、物語の楽しさや興味を広げるきっかけをつくる。また、乳幼児向けのおはなし会では、絵本を介した親子のふれあいの楽しさを伝える。 ②「季節のおはなし会」夏・冬・春 絵本や紙芝居の他に、パネルシアターや手遊び、工作など、多様な方法から物語の楽しさを伝え、本への興味を育て、読書へつなげる。 ③「絵本の音楽会」5月 大きなスクリーンで絵本を見ながら朗読を聞き、併せてオーケストラの演奏を楽しむことで、豊かな時間を提供し、物語や音楽への興味を広げる。 ④「英語のおはなし会」「外国語のおはなしのへや」日本語以外を母国語とする子どもを中心に、絵本の読み聞かせの楽しさを伝えるとともに、日本の子どもにも異なる文化や言語に触れる機会を提供し、読書への興味を広げる。	①定例のボランティアによる「おはなし会」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、休止。「かたりべ会」と「英語のおはなし会」については、11月より再開。 ・おはなし会(毎日曜日) 0回 ・かたりべ会(第2・4土曜日) 7回 ・英語のおはなし会(毎月第1日曜日) 3回 ・おはなしのもり 0回 ②赤ちゃんおはなし会(第1・3木曜日) 15回 7月から職員のみで再開。10月より、ボランティアが入る形で開催となった。 ③季節のおはなし会 0回 夏・冬・春すべて、中止。 ④こどもの読書週間行事「絵本の音楽会」開催中止 ⑤共催による「外国語のおはなしのへや」 1回 冬 2月21日(日)	生涯学習総合センター (会津図書館)	
	「読書関連イベント」への参加	読み聞かせ(放課後子ども教室事業)	各「放課後子ども教室」事業において、地域の方々の参画を得て、絵本の読み聞かせ、民話等の語りにより、読書機会を提供する。	放課後子ども教室「永和いなほキッズ」において、全22回中3回、民話の語りや紙芝居、絵本の読み聞かせを地域の方々の協力により実施した。 放課後子ども教室のひとつコマで地域の方からの「本の読み聞かせ」や民話の語りを実施し、読書への関心を高めるべく取り組んだ。 放課後子ども教室「まつながっ子1455」において、1回、「昔がたり」を地域の方々の協力により実施した。 放課後子ども教室「東チャレンジクラブ」において、計12回、地域ボランティアによる絵本の読み聞かせを行い、読書機会の提供に努めた。 学園キッズクラブの「夏休み移動教室」において、地域の方々の協力により読み聞かせを行った。	北公民館 南公民館 一箕公民館 東公民館 河東公民館
		第7回会津図書館を使った調べる学習コンクール	小学生を対象とし、図書館の本を利用して調べる学習に取り組み、まとめた作品を募集する。調べるテーマ探しや、調べ方・まとめ方を学ぶ講座を開催するとともに、学校に対してはテーマ別の「学校支援図書セット」や「調べる学習コンクール支援セット」を貸し出すことにより、子どもが主体的に学ぼうとする意欲の醸成と、情報を活用する力の養成に取り組む。	・応募作品32点、うち受賞作品14点(市長賞各3点、市議会議長・教育長賞各2点、佳作7点) ・全国コンクールへの推薦作品2点は、優良賞と佳作を受賞。 ○推進に向けた取組 ①調べる学習体験講座 7月 低学年向け2回 中・高学年向け1回 調べるテーマ探しや、調べる学習の進め方やまとめ方についての講座を行い、作品作りを行った。 参加者：児童24名、保護者25名 ②最終審査会 10月26日 ③表彰式・展示会 11月14日 ④大熊町地域コンクールとの合同作品展 2月26日～3月30日 ※セット貸出利用実績 18回	生涯学習総合センター (会津図書館) 学校教育課
		第7回会津ビブリオバトル(知的書評合戦)	中高生を対象とし、本を読んで感じた思いや魅力などを紹介し、発表を聞いて一番読みたくなった本に投票することで、読書活動の充実と思考力、表現力の育成とプレゼンテーション能力の向上に取り組む。	開催日：11月1日(日) 対象：中学生、高校生 発表者：中学生3名、高校生1名 観戦者：29名 高校生の発表者は1名だったため、ゲスト発表者となった。中学生の発表者も昨年より減り、決戦のみ開催した。観戦者は昨年度の約半数だった。新型コロナウイルス感染症拡大と、ビブリオバトル福島県大会地区予戦の開催の影響から、参加・観戦を見合わせる人が多かった。	生涯学習総合センター (会津図書館)

【指標（数値目標）】

（会津図書館調べ）

項目	現況値 （平成26年度）	実績値 （令和2年度）	最終目標値 （令和2年度）
「0歳からの絵本スタート」 の実施割合	59%		70%
「読み聞かせ」実施の割合 園児 保護者	83%		90%
「家読（うちどく）」実施の割合 小学2年生 保護者	42%		60%
家読（うちどく）実施の割合 中学2年生 保護者	19%		40%

※現況値については、平成26年度会津図書館実施アンケートによる数値であり、最終目標値に対する実績値については令和元年度アンケート実施による数値となる。

【指標（数値目標）】

（会津図書館調べ）

項目	現況値 （平成26年度）	実績値 （令和2年度）	目標値 （令和2年度）
子ども（18歳まで）の 登録者の割合	34.2%	50.7%	40.0%
児童書の貸出冊数	159,279冊	138,395冊	170,000冊
中高生への 貸出冊数	15,110冊	12,984冊	20,000冊

【指標（数値目標）】

（地区公民館調べ）

項目	現況値 （平成26年度）	実績値 （令和2年度）	目標値 （令和2年度）
子ども（18歳まで）の 年間利用人数	1,352人	500人	1,500人
公民館事業で「読み聞かせ」等を 取り入れた回数	46回	25回	55回

子ども読書活動推進計画 令和2年度実施報告書

対象：保育所・幼稚園・認定こども園等

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
保育所・ 認定こども園・ 幼稚園等	保護者等への「読み聞かせ」 や「家読」の重要性の広 報啓発	「園だより」等による読 書活動の推進	お便りにより、保護者や子育て支援参加者に対 し、乳幼児期からの「読み聞かせ」の重要性や 楽しさと施設での読書活動の取り組みの様子を 知らせる。	お便りを通して絵本の紹介をしたり、読み聞か せの大切さを知らせた。また、子どもたちが絵 本に親しむ様子や行事で絵本の話に取り組む様 子を紹介したりノーマディアの意識づけを行っ た。絵本コーナーで絵本紹介を行い、啓蒙活動 を実施した。 子育て支援活動の中で図書館の方を呼び、講座 を開催し、絵本の紹介や読み聞かせの大切さを 知らせた。 （実施園：15施設、47.0%）	こども保育課
		「継続的な読み聞かせ」 の実施と推進	絵本を保育所等と家庭で繰り返し読み聞かせを していくことで、絵や言葉、内容等、絵本への 関心を深め、効果的な読み聞かせを推進する。	保育の中での絵本の読み聞かせを行った。月間 絵本や行事での絵本のプレゼントや、絵本の貸 出を行い、家庭での絵本の読み聞かせの機会を 提供をした。支援が必要な子供に対して、発達 に合った絵本を提供したり、1対1での対応も行 った。 （支援を必要とする子どもへの読書活動実施園 25施設、78.0%）	こども保育課
		「読み聞かせ講座」の広 報	保育所等を通じて保護者への「読み聞かせ講座」 受講を働きかけ、各保育所等において読み聞 かせを実施できるボランティアの育成を図り、 読み聞かせの大切さを広報する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から「読 み聞かせ講座」を中止したため、広報を行わな かった。	生涯学習総合センター （会津図書館）
		昔ばなしの口演	園児を対象とした「湊かたりべの会」会員による 昔ばなし。	湊しらとり保育園の依頼により、月1回、午前 中に、地域の方がボランティアで、園児に昔ば なしを聴かせる時間を設けた。	湊公民館

【指標（数値目標）】

項目	現況値 （平成26年度）	実績値 （令和2年度）	目標値 （令和2年度）
お便りによる読書活動 啓発を1年間に4回以上 実施した園の割合	49%	47%	75%

子ども読書活動推進計画 令和2年度実施報告書

対象：学校

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
学校	「家読(うちどく)」の広報啓発	「メディアコントロール」等の活用による「家読」の推進	「メディアコントロール」等の活用による時間を読書に当てることや、家族と「家読」をすることについて、学校関係の会議において奨励する。	市立幼・小・中校長会等において、昨年度より市内全小中学校で実施している「メディアコントロール」等と関連させながら、「家読」の実施を図るよう呼びかけてきた。また、取組の契機作りのため、取組確認シートの活用を推奨を行った。	学校教育課
	学校図書館の活用しやすい環境の整備	学校図書館の所蔵冊数の充実	学校図書館用の図書購入費について、各校の学級数等に応じた予算配分を行うほか、年に1回蔵書数調べを実施し、所蔵冊数を把握し、所蔵冊数の充実に努める。	学校図書館用の図書購入費について、年度初めに各校の学級数等に応じた予算配分を行った。また、年度末に各校の所蔵冊数や廃棄状況等を把握するため、蔵書数調べを実施した。	教育総務課
		学校図書館ボランティア養成講座	「学校図書館ボランティア養成講座」を開催し、学校図書館で活動できるボランティアを養成する。	開催を6月から11月に変更し、全3回の講座を開催。資料の分類・排架・修理・整備、書架サインや展示コーナーの作り方について、講義と実演を行った。今年度は、若松第二中学校図書ボランティアの方を講師に招き、学校図書館での活動状況や読み聞かせについてお話をいただいた。	生涯学習総合センター(会津図書館)
		学校図書館の環境充実	小中学校に対し、「学校図書館ボランティア養成講座」を受講した学校図書館ボランティアの活用を促す。	今年度は11月の3日間で実施したが、のべ22名(実人数8名；うち2名は学校図書館支援員)の参加があった。感染症対策のため、積極的な呼びかけができず、少人数での実施となったが、次年度以降につながる取組とすることができた。	学校教育課
		会津図書館奉仕員が小中学校図書館を巡回訪問し、司書教諭等に対し、助言、支援を行う。	小学校18校、中学校10校を訪問。「学校図書館管理マニュアル」に則り、司書教諭・学校図書館支援員へ図書室管理の助言・支援を行った。その他、河東学園小学校と永和小学校についてはラベル整備のために、1回ずつ訪問を行った。	生涯学習総合センター(会津図書館)	
	学校図書館支援員の配置	学校図書館の充実のため、学校図書館支援員の配置校を拡大し、読書好きな児童生徒を増やすとともに、言葉や学び、語彙を増やし、感性を磨き、豊かな想像力や表現力、読解力を育む。	6名の学校図書館支援員を市内全小中学校(30校)に配置し、1校につき週1回程度の勤務を4月より開始した。本の整理や補修、掲示物の作成など学校図書館の環境整備を中心に、授業のための資料準備など、読書に親しむ児童生徒の育成や図書館教育支援に努めてきた。	学校教育課	
	「朝読」活動の充実に向けた取組	「朝読」の推進	各小中学校への「朝読」の時間確保や、「読書記録カード」等を利用した内容の充実に向けた指導を行う。	全小中学校において「朝読」等の取組を行っている(小1校は、集会活動時に実施)。朝読の時間は、小中ともに1回につき10分間がほとんどであった。回数は、小学校では週に2回、中学校では週に3回が最も多かった。読書記録カードを活用している学校は、小学校94.7%、中学校36.4%であった。小中ともに、昨年度以上に活用が進んでいる。	学校教育課
読み聞かせタイム		湊小学校において、地域団体「湊かたりべの会」や地域の住民が小学校へ外向き、かたりべや読み聞かせ、紙芝居などの活動を朝の時間に引き、「朝読」の充実に取り組む。	小学校1～3年生を対象に朝の時間を利用して地区住民ボランティアがかたりべ、読み聞かせを行うとともに、小学校4～6年生の図書委員会委員への読み聞かせ指導を行っている。	湊公民館	

【指標(数値目標)】

項目	現況値(平成26年度)	実績値(令和2年度)	目標値(令和2年度)
小中学生の1か月間の平均読書冊数	小学生 11.6冊 中学生 2.6冊	小学生 13.2冊 中学生 2.7冊	小学生 14.0冊 中学生 4.0冊
学校図書館図書標準を達成している学校数	小学校 12/19 中学校 7/11	小学校 19/19 中学校 8/11	小学校 15/19 中学校 10/11
図書館ボランティアが参画している学校数	小学校 9/19 中学校 1/11	小学校 17/19 中学校 6/11	小学校 14/19 中学校 6/11

子ども読書活動推進計画 令和2年度実施報告書

対象：支援を必要とする子ども・家族

実施主体	取組	事業名	事業内容の詳細・展開	取組状況	担当課
障がい児通所施設・養護学校等	「家読(うちどく)」の広報啓発	「家読」の啓発	「家読のススメ」チラシの発行、こどもとよかんたより等へ「家読」記事や、おすすめの本を掲載し、「家読」の意義や楽しさについて啓発を図る。	「家読のススメ」第8号を発行し、市内小学校・会津支援学校・聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設へ配布を行った。	生涯学習総合センター(会津図書館)
	一人ひとりに合った「読み聞かせ」等の実施	「読み聞かせ講座」の広報	通所施設を通じて保護者やボランティアへの「読み聞かせ講座」受講を働きかけ、地域において読み聞かせを実施できるボランティアを育成し、活用することで、読み聞かせの機会を提供する。	「読み聞かせ講座」を中止としたため、会津支援学校・聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設に対するポスターの掲示依頼や、会津支援学校・聴覚支援学校会津校に通う児童の全保護者へのチラシの配布も行わなかった。	生涯学習総合センター(会津図書館)
	連携による読書活動の推進	情報交換によるニーズ把握	障がい児通所施設やその利用者の読書に対するニーズを把握し、図書館へ情報提供をしていく。	施設に対して要望等がある場合はご相談いただくよう案内しているが、今年度は新たな要望等は聞かれなかった。	こども家庭課
		図書館情報の発信	①通所施設等に対し、図書館等の利用や絵本や紙芝居の貸出等について広報していく。 ②通所施設等の利用者に対し、通所施設等を通して、会津図書館利用案内や子ども向けイベント等の情報を発信し、図書館情報を広報する。	こども家庭課では、図書館からの情報を通所事業所、相談支援事業所に配布して、広報活動に取り組んだ。図書館では、①②ともに、ポスターやチラシを配布し、広報を行った。 見学受入：1件 聴覚支援学校会津校(小等部)1回	こども家庭課 生涯学習総合センター(会津図書館)
	障がいのある子どもを対象とした「おはなし会」の開催	障がいのある子どもを対象とした「おはなし会」の開催	通所施設等と連携し、おはなし会を開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から障がいのある子どもを対象とした「おはなし会」の積極的な呼びかけは行わなかった。2月にこども家庭課を通じて、事業所に対して図書館見学の際の読み聞かせ利用を促すチラシを配布した。	生涯学習総合センター(会津図書館)
	支援学校等への移動図書館の運行	県立会津支援学校や県立聴覚支援学校会津校へ月1回移動図書館を運行し、児童生徒に対し読書の機会を提供する。	移動図書館利用計画では8回の運行を予定していたが、緊急事態宣言に伴う図書館の臨時休館により4・5月の運行を中止し、今年度は6回実施した。 (6～7月、9～12月運行) 貸出冊数：298冊	生涯学習総合センター(会津図書館)	

【指標(数値目標)】

項目	現況値(平成26年度)	実績値(令和2年度)	最終目標値(令和2年度)	説明
障がいのある子どもを対象としたおはなし会開催回数	0回	0回	年間6回	図書館等におけるおはなし会の開催回数
子どもと保護者が一緒に読書をした(家読の)割合	5.1%		6.0%	家庭で子どもと保護者が読書を楽しんだか

※現況値については、平成26年度会津図書館実施アンケートによる数値であり、最終目標値に対する実績値については令和元年度アンケート実施による数値となる。